日本グラスファイバー工業

価格転嫁とムダの排除

産資強化に一定のめど

ガラス繊維など無機繊維製の織物・不織布、加工品や製造販売する日本グラスファイバー工業（愛知県江南市）は今期（2026年8月期）、コスト上昇に伴う価格転嫁やムダの削減に取り組み、収益改善を図る。

前期は、なくなる子定だった大型商権が一部継続し、自動車内装材向けも堅調だったため、当初計画よりも減収幅は縮まった。しかし、コスト上昇に伴う価格転嫁の遅れや業務・工場での各種ムダが発生し利益が伴わなかった。「今期は自動車資材の大型商権がなくなる。その中でいかに採算を改善するかが課題」と朝居隆社長は言う。

大型商権の喪失を補うため、強化してきた一般産業資材用は専任部署も設けるとともに、今春から朝居社長がリーダーを務めたが、産業資材用の生産拠点である、中国子会社の大連奥田耐熱繊維（愛知県稲沢市）と連携して開発を進めている。

例えば、石英ガラス使いやコーティング加工品などの開発が進んでおり、年内には一定のめどを付けたい考えだ。

同社は国内だけでなく海外にも生産拠点を持ち、NP設備は国内、中国、タイ、インドネシア、インドに持つが、6月にはタイに中国企業と合弁でニードルマット製造の新会社を設立した。

新会社の出資比率は同社51%、中国企業49%。新工場は既存のタイ子会社、ニチグラスタイランド（インドネシア）の近隣に設け、8月1日には開所式を開いた。

ニードルマットは、ガラス繊維やシリカ繊維を主力に生産する。現在、量産化に向けた認証作業を進めている。

8月1日に開所式を開いたタイの新合弁会社

アサヒ繊維工業

今期、足元商況は堅調

フィルター、ロッドともに

フィルターやロッドなど繊維製特殊加工品を製造のアサヒ繊維工業（愛知県稲沢市）は今期（2026年3月期）商況が堅調だ。販売先が在庫調整期を脱したこともあり、受注が集中していると言う。

特にロッドの受注が伸びている。筆記具や芳香剤用の中綿や芯が増加した。フィルターは空圧機器や浄水器向けの供給が停滞していたが、復調傾向にあるため生産を増やす。販売先の理解を得ながら、原料価格の高騰などを要因とした価格改定も進める。

浅井達郎社長は足元の商況について「受注減の反動もあり増収基調にあるが、安心はできない」と危機感を示す。安定的な収益の調達や、生産面での協業によるサプライチェーンの維持を課題に挙げる。

原料価格の高騰や調達経路の変更なども見据えた代替品の試作もEMIAN増える。本社工場のデジタル化にも注力している。

さまざまな形状や仕様に対応する

差別化商材を少量多品種で

高木化学研究所

繊維・成形品製造の高木化学研究所（愛知県岡崎市）は、70年以上前に創業した代表的な商材である「採用車種も決まって培った再生繊維の製造技術が強みだ。開発に取り組んできた結果、長期的な需要も見込める」と井上昌洋社長は言う。

自動車資材を強化するために23年1月にはISO14001認証も取得している。その他、不織布ではロットは大きくないが、開発案件を数多く抱えている。

一方、コスト上昇が更新・再開発の一部を続くことから再度の価格転嫁も検討する。

再生ポリエステル短繊維・成形品製造の高木化学研究所（愛知県岡崎市）は、70年以上前に創業した代表的な商材である「採用車種も決まって培った再生繊維の製造技術が強みだ。開発に取り組んできた結果、長期的な需要も見込める」と井上昌洋社長は言う。

自動車資材を強化するために23年1月にはISO14001認証も取得している。その他、不織布ではロットは大きくないが、開発案件を数多く抱えている。

一方、コスト上昇が更新・再開発の一部を続くことから再度の価格転嫁も検討する。

3本柱を持つが、繊維事業の売上比率はおよそ3分の1を占める。

生産は三寄工場（同）が担う。30人強のスタッフが試作品の製作から量産をこなす。さまざまな種類の生産を手掛けるために、機動力や調整力を強みとしながら改善を進める。稼動率は90%を維持する。

今後はインテリアや一般消費材向けの販売増も狙う。高木優州社長は「開発の豚史と蓄積が付加価値となる。価格を意識しながらも、販売先への価値を認めてもらえるように取り組む」と話す。

江洲産業

新自動車資材が本格化

各種新ビジネスに期待

江洲産業（滋賀県長浜市）は、産業資材用織物の織布・加工、不織布の加工を行う。蚊帳の製造元として122年創業し100年超の歴史を持つ。

レピア、エアジェットの各織機、ディッピング・グラビアコーティング・ナイフコーティングはじめ各種加工機を保有する。

近年はスリット、検反機能を持つリワインド機2台を導入したほか、合繊長繊維の繰糸用熱糸機導入も検討しており、生産体制は順次、整備してきた。

こうした各種生産設備を生かした開発力が同社の強みだ。合繊メーカーなどさまざまな企業から試作され、各種試作や開発案件が持ち込まれる。

前期は主力用途である建材の納入先の一社が、昨年末に工場火災を起こした影響を受けたが、来年2月には同工場も再開することから、その試作なども見込む。さらに今期（2026年8月期）は、タイヤコードの加工や研磨布、自動車資材などで新規ビジネスが立ち上がることに期待する。

その一つが昨年、設備の一部を更新した泡加工を活用した自動車資材向けの不織布だ。開発に取り組んできた結果、「採用車種も決まって培った再生繊維の製造技術が強みだ。開発に取り組んできた結果、長期的な需要も見込める」と井上昌洋社長は言う。

自動車資材を強化するために23年1月にはISO14001認証も取得している。その他、不織布ではロットは大きくないが、開発案件を数多く抱えている。

一方、コスト上昇が更新・再開発の一部を続くことから再度の価格転嫁も検討する。

本社工場

技術開発力と品質で
繊維の可能性を拓く
オーツカは、短繊維開発・生産から不織布製品の開発・生産までを一貫して行うことができる日本でも数少ない企業の一つです。
開発・生産実績
✓ 短繊維
ナイロン・ポリエステル・ポリプロピレン
様々な短繊維を小ロットで対応可能
✓ 不織布
80g～2000gまでの幅広い目付けに対応可能
樹脂・ラミネート（100g－2500g）加工
多層品対応（2層～4層）
愛するネコちゃんの爪とぎの悩みから開放されるために生まれた爪とぎロンマット。
ネコちゃんの爪とぎでは、どうしても麻の紐がボロボロになったり、段ボールのごみが散乱してしまいます。交換や掃除が大変で悩んでいたメンバーの声から生まれたアイディア商品。
株式会社 オーツカ
本社 岐阜県羽島郡笠松町門間1815-1
TEL 058-388-3121(代)
https://www.otsukacorp.co.jp
インスタグラムやっています

enka solutions
フロイデンベルグ・スパンウェブ・ジャパン株式会社
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-5-12 クリスタファイブ9階
TEL.06-4705-3880 FAX.06-4705-3930
https://enkasolutions.com/
FREUDENBERG PERFORMANCE MATERIALS

Nitigura
安全・快適を明日へ繋ぐ
断熱も耐熱も自在に。
ニーズにこたえるガラス繊維技術。
ガラス繊維織物（クロス・テープ・スリーブ・ロープ）
ボイラーなどの高熱保温カバージャケット
火花飛散クロスで溶接火花飛散シート
etc.
日本グラスファイバー工業株式会社
Nihon Glass Fiber Industrial Co., Ltd.
〒483-8243 愛知県江南市五明町石橋18番地
TEL：0587-55-3176 ／ FAX：0587-54-4196

marusan
コットンで未来をつむぐ
Through Cotton, We Weave Our Future
Bleached Cotton
MIRACLE COTTON
ミラクルコットン

ファイン化時代のニーズに応えるメルトブロー不織布タピルス™
液体フィルター、エアーフィルター、電池セパレーターから医療用マスクまで
幅広い分野で活躍する「タピルス™」の製品
お客様の用途に合わせてカスタムメードで提供します。
タピルス株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪3-19-15 二葉高輪ビル5階
TEL 03-5449-7911 FAX 03-5449-2465
http://www.tapyrus.co.jp

ショートカットファイバー
ポリエチレン または 共重合ポリプロピレン
ポリプロピレン
※ QCE-0.4 カット長 5mm
宇部エクシモ株式会社
繊維・産業資材事業部 繊維営業部
東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-19 TEL (03)6667-2421
ホームページアドレス https://www.ube-exsymo.co.jp/

繊維ニュース

THE SEN-I NEWS

Nitigura
Nitigura